

第5回北区基本構想審議会 部会3「創出」次第

令和4年4月28日(木) 14時

北区役所第2委員会室

- 1 開会

- 2 分野別の20年後の望ましい姿について
 - (1) 都市計画
 - (2) 道路・交通
 - (3) 住宅・公園河川
 - (4) 防災・防犯
 - (5) 環境共生・環境保全・資源循環

- 3 職員ワークショップの実施結果について

- 4 その他

- 5 閉会

都市計画分野 20年後の望ましい姿

1 審議会での主な意見

(1) 都市づくり・まちづくり

- ①駅を中心とした高機能化、テクノロジーの活用が必要。
- ②住民参加型で地域の実情、特性にあった計画的なまちづくりの推進、公共利用の検討が必要。
- ③多世代が賑わう活力ある街並み等、駅周辺の再開発の推進が必要。
- ④治水・災害時の避難場所確保、地域のための自然エネルギー供給、景観向上、レクリエーション、コミュニティ維持、環境教育の場となるような、計画的な土地利用・活用が望ましい。
- ⑤働く中間層、子育て世帯、高齢者世帯、一人世帯等、ターゲットに応じた機能の検討が必要。
- ⑥利便性や人とのつながり、働き方や住まい、取り巻く環境等、様々な視点による、まちづくりの方向性の検討が必要。
- ⑦ウォークアブルシティ等の都市経営を考え、まちとまちをつないでいくことが必要。

(2) ユニバーサルデザイン

- ①地形の高低差を意識せず、自然に生活できる。
- ②どこでも安心して楽しめる、「住みやすい」エリアづくりが必要。
- ③無電柱化や広い歩道の整備等、高齢者の電動カートやベビーカー、車いすの往来がしやすい。

(3) 景観形成

- ①荒川を活用した親水型のまちづくりを目指す。
- ②自然に配慮している都市イメージの定着を図る。
- ③自然の多様な機能を活用したインフラ・土地利用、まちの景観との統合性があり、潤いを感じられる。

社会・国・都の動向、現状と課題、取組みの方向性（案）

2 20年後の望ましい姿

- (1) 都市機能の計画的な更新・施設等の集約化や住民参加による地域の特性・地域資源を活かしたまちづくり、先端技術の活用により、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じて、だれもが安心して住み続けられるまちとなっています。
- (2) どこにいても、スムーズに行き交うことができる、あらゆる人にやさしい、快適な環境が形成されています。
- (3) 住む人、訪れる人ともに、四季の移ろいや水辺のうらおい、文化・歴史を感じられる美しいまちなみが広がり、オープンスペースは国籍や世代をこえた人々の交流の場として、人と人とのつながりを深め、ゆとりをもたらしています。

道路・交通分野 20年後の望ましい姿

1 審議会での主な意見

(1) 体系的な道路ネットワークの構築

- ①災害発生時の状況を考慮した、渋滞の起こらない道路ネットワークの形成が必要。
- ②駅の高架化等による駅周辺の渋滞解消が必要。
- ③高低差を意識せずに移動できるまちづくりが必要。
- ④低地部から高台への避難路の確保が必要。
- ⑤老朽化する社会資本を計画的に更新すること、予防保全による維持管理が必要。

(2) 安全で快適な交通空間の形成

- ①自転車および歩行者が安全に利用できる道路環境の整備が必要。
- ②現状、車道と自転車道の分離が十分ではなく、幹線道路を走る自転車を見ると、危険だと感じることがある。
- ③歩行者、車両の動線を明確に分離することが必要。
- ④無電柱化により歩道が広くなることが望ましい。
- ⑤現状、場所によっては横断歩道が少なく、道路をまたいだ移動が難しい。
- ⑥音声案内の導入や段差のない道路の整備など、バリアフリー化の推進が必要。
- ⑦子どもたちの安全のためにも、通学路での見守り活動が継続されることが望ましい。
- ⑧移動自体を生活の中の楽しみにすることができれば望ましい。
- ⑨環境にやさしい道路整備や、遊歩道の積極的な整備が必要。
- ⑩駅周辺の駐輪場整備の強化が必要。
- ⑪テクノロジーの活用について、検討が必要。

(3) 利便性の高い移動手段の確保

- ①交通の要衝であるという区の強みを踏まえて、拠点性の高い駅の形成を進めていくことが必要。
- ②交通機能や駅を活かすことが、北区のまちづくりの一つの方向性だと考えられる。
- ③区内全域における公共交通機関の利便性の向上が必要。
- ④アクセス性の悪い場所にある公共施設については、新たな交通手段が必要。
- ⑤移動することが容易になり、高齢者が孤立することがなく、いつまでも社会参加ができるまちになることが望ましい。
- ⑥タウンモビリティを形成していくことが必要。

社会・国・都の動向、現状と課題、取組みの方向性（案）

2 20年後の望ましい姿

- (1) 体系的な道路ネットワークが形成されることで、区内外の拠点間や、高低差のある地域間を結ぶ移動軸が確保され、交通渋滞が緩和した円滑なまちの移動が実現しています。
- (2) 歩行者、自動車・自転車利用者それぞれにとって、安全で快適な交通空間が形成されるとともに、先端技術の実用化が進むことで、だれもが安心して移動できるまちになっています。
- (3) 多様な移動手段が普及するとともに、各拠点の交通結節機能が向上することで、だれもが自分のライフスタイルに合った移動手段を選択して、行きたい場所に気軽に移動できるようになります。

住宅・公園河川分野 20年後の望ましい姿

1 審議会での主な意見

(1) 安心居住

- ①見守り機能(人・AI)を備えた優良高齢者住宅の供給が必要。
- ②耐震・防災・省エネ・建替え・修繕等の機能更新ほか三世帯住宅支援の推進が必要。
- ③地域・団体等との連携、支援のためのネットワーク、仕組みづくりが必要。
- ④多世代がうまく暮らしていけるような公営住宅団地づくり、住民と触れ合えるようなコミュニティ施設の整備が望ましい。
- ⑤働く中間層、子育て世代を重視した良質な住宅街の形成が必要。
- ⑥公営住宅の建て替え時に、介護ステーションなどの併設が望ましい。
- ⑦北区ゼロカーボンシティ宣言に基づき、脱炭素社会実現の環境性能を備えた住居を誘導する。
- ⑧過度な経済的負担がなく、自立した生活を送るための住まい・施設に入居できる仕組みが必要。

(2) 住環境形成

- ①管理不全の居住家屋に対する管理支援、建て替え支援などの拡充が必要。
- ②空き屋・空き店舗を自然エネルギー発電所・災害時備蓄等の場所に活用し、街の景観整備とともに、防災・SDGsへの取り組みとなっている。
- ③空き店舗、空き家がリノベーションされ、市民グループ活動や日々の憩いの場として機能している。
- ④居住者がおらず、そのままとなっている集合住宅が自治体・民間の協働でリノベーションされ、病院、保育所・高齢者サービス、娯楽、子どもたちへの教育・遊び場を備えた複合施設として運用され、地域の人々が低コストで利用でき、顔見知りの間柄での安心したコミュニティの場となる。

- ⑤(環境と)まちづくりや住環境とのリンクを強く意識していただきたい。上質な住宅街を形づくる要素の一つとして環境に関する要素というのは、近年不可欠であると考えている。この連携について、基本構想を定める際には強く意識して記載をいただきたい。

(3) 魅力ある空間の創出

- ①動物と遊べる、落書きができる、幼児を対象にした等、コンセプトのある公園ができると良い。
- ②恵まれた河川を、多様な主体と様々な手法で活用(スポーツ施設・舞台・カフェ・イベント実施・交通網としての活用など)し、区の魅力向上につなげていくことが必要。
- ③地域の実情・ニーズを踏まえて、オープンスペースや公園の整備を進めることが必要。
- ④公園は、計画的に維持管理を実施することが必要。
- ⑤幼児、高齢者、身体障害者を含め、安全・安心に利用できる公園の整備が望ましい。
- ⑥憩いの場所となるような、緑のある公園の整備。身近な緑を増やす取り組みが必要。

社会・国・都の動向、現状と課題、取組みの方向性(案)



2 20年後の望ましい姿

- (1) 災害に強く環境性能の高い、より安全で快適な、良質な住まいの整備が進められています。また、世帯構成やライフスタイルに応じた居住への支援により、だれもが安心して自分らしく暮らすことができる住まいが確保されています。
- (2) 生活利便性の向上とともに、高齢者や子育て世代など、多世代がともに暮らし、見守り、支え合う住環境が形成され、いきいきと暮らしやすい住生活が実現しています。
- (3) 北区ならではの個性溢れる公園や水辺空間に、区内外から人々が集い、新たな交流やまちなぎわいが生まれています。

北区基本構想

防災・防犯分野 20年後の望ましい姿

1 審議会での主な意見

(1) 強靱なまちづくり

- ①延焼遮断帯の整備、狭隘道路の解消、無電柱化、高台・東西移動への避難路確保、緊急輸送道路沿道の耐震化等、安全な住宅市街地の形成が必要である。
- ②低地部の既存公共施設、高齢者施設などに対し、内水氾濫に備えた止水板の設置推進が必要である。
- ③蓄電太陽光パネルの設置、かまどベンチ等が整備された公園の拡充が望ましい。
- ④空き家・空き店舗等を活用した、自然エネルギー発電所・災害時備蓄等の整備が望ましい。
- ⑤水害対策の推進が必要である。
- ⑥耐震化助成事業の拡充が望ましい。

(2) 地域防災力の向上

- ①風水害に備え、低地部への対応が必要である。
- ②災害に備え防災教育の徹底やハザードマップの更なる整備や防災ボランティアが平常時から訓練されるなどリーダーシップをとれる住民が育成されることが望ましい。
- ③避難施設、防災施設、高台避難場所の収容人数や設備が整備されており、充実していることが必要である。
- ④普段から近所、地域の人とお付き合いし、何かの時に助け合える関係を築くことが望ましい。
- ⑤あらかじめ避難所の居室スペースを含む避難計画を作成する。避難所での個人の空間を配慮するなど、充実させることが必要である。
- ⑥ひとり一人に確実に届く防災・防犯に関する情報をあらゆる媒体を使って提供する必要がある。

- ⑦高齢者・障害者・子ども世帯・外国人・性的マイノリティなど、どのような状況におかれていても、的確な情報がデータアップされ、安全・安心が確保されている必要がある。

(3) 地域の安全・安心の確保

- ①町全体が犯罪防止に前向きで、地域、町内会レベルによる見守りや安全への意識・知識を高める必要がある。
- ②スマホ世代の若者たちへの犯罪コンプライアンスの強化や安全安心へのモラルの在り方の教育を行う必要がある。
- ③駐輪場などの施設周辺で視覚が無いような工夫を行うことが望ましい。
- ④犯罪を未然に防ぐために、異常な行動を予測できるカメラを設置するなどICTを活用することが望ましい。
- ⑤ひとり一人に確実に届く防災・防犯に関する情報をあらゆる媒体を使って提供する必要がある。

社会・国・都の動向、現状と課題、取組みの方向性（案）



2 20年後の望ましい姿

- (1) 大規模な自然災害が発生した場合でも、区民の生命や大切な財産が守られるとともに、交通やインフラが遮断されることがなく、迅速な都市機能の回復が実現できる、強さとしなやかさをもったまちの基盤が形成されています。
- (2) 自ら身を守る行動が図れ、互いに助け合うことができ、地域に関わる人と行政が一体となった防災力が高いまちになっています。
- (3) 犯罪を未然に防ぐ意識が高まるとともに、自主的な防犯活動や先端技術の活用により、犯罪の起こりにくい安全・安心なまちになっています。

環境共生・環境保全・資源循環分野 20年後の望ましい姿

1 審議会での主な意見

(1) 脱炭素社会

- ①シエアサイクルの導入、「もの」の所有から機能のみの所有・使用する様式への対応が必要である。
- ②SDG s に準拠するということを強く意識する必要がある。
- ③企業・個人への補助・推奨、売電（区民出資→整備→出資者に還元）を実施する仕組みがあることが望ましい。
- ④まちづくりや住環境とのリンク、新庁舎等で使用する部材に環境対策をすることが望ましい。
- ⑤学校全体に太陽光発電を取り付け、小学校で脱炭素・環境保全の授業を取り入れることが望ましい。

(2) 資源循環

- ①リサイクルや資源循環に生活の中で貢献した人に何かメリットを与える。リサイクルで NPO 等と連携した区独自のエコポイント(ポイントで買い物券)を推進することが望ましい。
- ②家畜の飼料として食品ロスを提供するなど、育てた牛・豚などを北区ブランドとしてフィードバックしていくことが望ましい。
- ③資源を未来へ。「つくる→つかう→もどす」という循環を推進する必要がある。
- ④物々交換で物資を得るなど、環境保全に役立つことが望ましい。

(3) 自然環境の保全・創出

- ①自然を身近に感じられる環境が整備されることが望ましい。
- ②荒川土手や飛鳥山公園を利用した環境イベントを開催し、多くの人に参加してもらうことが望ましい。

- ③保育児、小学生を対象とした環境学習の推進と区民への啓発活動が必要である。
- ④環境問題・自然保全を広く区民に意識付けする必要がある。
- ⑤都市と生物の共生に詳しい人の起用をすることが望ましい。
- ⑥雨水管理システムの整備、保水性道路の改善による街路樹・公園の緑の増加、市民農園・緑化運動などの市民参加が必要である。
- ⑦河川敷などを活用した新たな農業の在り方、これまでとは違うリノベーションをしていくことが望ましい。

(4) 生活環境の保全

- ①いつも町を綺麗に、美しくするため、地下にごみ集積所を作ることが望ましい。
- ②継続的な受動喫煙対策、人が多く集う所での歩きタバコ禁止の徹底が必要である。
- ③緑が多く、トイレが綺麗で、空気が澄み渡り、毎日青空が見える北区であることが望ましい。

社会・国・都の動向、現状と課題、取組みの方向性（案）



2 20年後の望ましい姿

- (1) 人々の環境配慮への意識が高まり、環境負荷の少ない生活や企業活動が実践され、脱炭素社会の実現に向けて大きく前進しています。
- (2) 区民・事業者・区の協働により、ごみの減量化や資源の有効利用が進み、循環型社会が形成されています。
- (3) 北区の豊かな自然が保たれ、子どもから大人まで水と緑を身近に感じることができる環境が形成されています。
- (4) 公害の防止及び身近な生活環境の保全に取り組み、だれもが衛生的で快適な生活を送っています。

北区基本構想

北区基本構想策定に向けた 職員ワークショップの実施結果

参加者：各部推薦（35歳以下で、係長級、主任、主任選考対象者）及び、政策課題研究会（ロゼ）メンバー 合計34名

実施概要・目的：

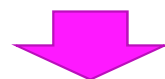
- 5～6名の班を分野別（躍動、輝き、創出）に各2班（合計6班）構成し、ワークショップ形式にて実施。
- 審議会における検討材料として活用するため、若手、中堅職員に基本構想等の策定プロセスへの参加機会を設け、基本目標（案）とその説明文の作成について検討を行った。

将来像の分野	包含する要素（政策領域）の例
躍動	地域振興、産業振興、地域文化・生涯学習・スポーツ、観光・シティプロモーション、人権・多文化共生・男女共同参画
輝き	子ども・家庭、学校教育、健康・医療、高齢・介護、障がい、権利擁護・生活支援
創出	都市計画、道路・交通、住宅・公園河川、防災・防犯、環境共生・環境保全・資源循環

日程・内容：

第1回：令和3年12月20日（月） **「各分野において重視すべき要素の抽出」**

- 各分野 2 グループで分野ごとに議論し「将来像の要素」を作成。



第2回：令和4年 1月12日（水） **「将来像の重視すべき要素と将来の姿の検討」**

- 各分野 2 グループで分野ごとに議論し「将来像を構成する要素」や「実現すべき北区の将来イメージ」を作成。



第3回：令和4年 3月23日（水） **「基本目標（案）の検討・取りまとめ」**

- 第1回、第2回で検討した内容をもとに、分野ごとに2案の基本目標（案）と、それぞれの考え方を端的に表す説明文を作成。



第1回 各分野において重視すべき要素の抽出

	将来像の要素	選定の理由・根拠
躍動	知名度の向上	北区の観光資源（ランドマークなど）を活かし知名度の向上
	次世代につなげる文化芸術	担い手づくり、ICTを活用したコミュニティづくり、外国人との共生
	ダイバーシティにおける全活躍型社会	いつの時代も人種・性別・境遇に関係なく区民が活躍できる社会
	個の尊重は区の成長	多様な個性・文化・国籍・性別を理解尊重する
輝き	子ども・子育て層のネットワークづくり	場所や施設でのイベントにとらわれず、ネット上でのつながる場（＝ネットワーク）があれば、より取り残されることが無い
	ひとりひとりに寄り添った教育で子どもの個性・能力を伸ばす	ハード：環境の整備 ソフト：ICT、多様な学習機会
	地域のつながり、生きがいづくりでいきいきと長生き	いきがいを持って長生き、病気になっても家族と本人が希望を持って暮らす
	個性が輝ける環境	障がいやマイノリティーも含め、“個性”としてとらえる環境づくり
創出	誰でも使える魅力ある公園	誰もが外で楽しく遊べる機会を増やしたい（カフェ、レストラン、遊具の整備、清潔感の維持）
	持続可能性社会の形成	環境保全、資源循環、ゼロカーボン
	安心・安全な都市基盤の整備	狭く、暗いと怖いから（道路の拡幅、無電柱化、災害対策）街路樹等も
	ゼロ・カーボン循環型社会の推進	省エネと資源循環が重要だから

【 躍動 】 将来像の重視すべき要素と将来の姿の検討

将来像を構成する要素	北区の問題点と可能性	実現すべき北区の将来イメージ
地域のつながり 生涯スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化による担い手不足 ICTを活用した地域への愛着づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用による全世代が地域への愛着を持てるコミュニティの実現 スポーツを通して世代の垣根を超えた地域のきずなづくり
次世代につなげる文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の衰退 新技術を活用した次世代への文化継承 	<ul style="list-style-type: none"> 新技術を活用した未来へつなぐ次世代への文化芸術の継承 デジタル社会に対応した文化芸術の新しい発信
ダイバーシティにおける全活躍型社会	<ul style="list-style-type: none"> 多種多様な価値観をはぐむ土壌づくりの不足 だれでもいつでも自由に学び挑戦できる社会 	<ul style="list-style-type: none"> だれでもいつでも自由に学び挑戦できる全活躍型社会の実現 多種多様な価値観を認め、共有しあう全活躍型社会に実現
知名度の向上	<ul style="list-style-type: none"> 区民の愛着が世代間でバラつきがある 観光資源の把握不足及び利活用不足 広報の工夫の余地あり 文化施設の利活用可能性追求 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが愛着とほこりをもって住みつづけたいまちの実現 週末のお出かけの目的地として訪れたいまちの実現
個の尊重は区の成長	<ul style="list-style-type: none"> 職員の区政への理解が不足している 個を尊重することへのニーズに対応できていない 住民の多国籍化が進んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 個の尊重は区の成長 誰もが自分らしい生き方で輝けるまち



【 躍動 】 基本目標（案）の検討結果

	基本目標（案）	説明文
躍動 1	<ul style="list-style-type: none"> • 多種多様な価値観ときずなをはぐくむまち 北区 • 個性がいきるまち 北区 • 全活躍型社会 北区 	<p>ICTを活用して、文化芸術を未来へつなぐとともに、区民一人ひとりが地域への愛着ときずなを深め、自由に学び挑戦できる全活躍型社会北区をめざします。</p>
躍動 2	<ul style="list-style-type: none"> • だれもが花咲かせるまち • 帰宅したくなるまち 北区 • 個の尊重は区の成長 • まちどおいしいまち北区 	<p>だれもが、文化・歴史を継承する担い手となり、自らの個性に花咲かせながら、北区とかわることに誇りが生まれ、それが新たな北区とのかかわりを生み出す循環と広がりのあるまちをつくっていきます。</p>

【輝き】将来像の重視すべき要素と将来の姿の検討

将来像を構成する要素	北区の問題点と可能性	実現すべき北区の将来イメージ
ひとりひとりに寄り添った教育で子どもの個性・能力を伸ばす	<ul style="list-style-type: none"> サポート体制が不十分 ICT活用が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの個性・能力を伸ばす環境づくり あらゆる個性を認めあえる学びの場の実現
多様化する環境に応じた子育てサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの福祉需要が増加している 人材不足の対応が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する環境に応じたよりきめ細やかな子ども福祉サービスの提供
子育てしやすい環境づくり <small>子育てサービス・環境</small>	<ul style="list-style-type: none"> 環境が充実している 活用できる人材が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のコミュニティを活かした子育てしやすい環境づくり
地域のつながり、生きがいづくりでいきいきと長生き	<ul style="list-style-type: none"> 集う場所がある つながりの格差がある 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のつながり、生きがいづくりでいきいきと長生きできる街づくりの実現 つどいの場の充実を魅力発信
子ども・子育て層のネットワークづくり（オンライン）	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ・リテラシーの整備・ネットいじめのリスク ネットワークを持たない方への支援 トレンド（メタバース・e-sports） 北区は地域のきずなづくりに注力している点 	<ul style="list-style-type: none"> どんな子どもたちも楽しく競い合えるe-sports大会の開催によるコミュニティづくり 仮想空間を整備して地域ネットワークの充実を図り、共有したくなるまちづくり
IT化の進展に対するフォロー	<ul style="list-style-type: none"> コスト面 デジタルデバйд 東洋大との連携 IT化の進展による、多くの世代の地域参加、コスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> IT先進都市・北区 次世代を担うITスペシャリストの育成 デジタルデバйдの解消により、誰もがIT化の恩恵を享受できる地域社会の実現
個性が輝ける環境	<ul style="list-style-type: none"> いじめ、不登校等相談数の増加 教育者への指導 知る機会を増やす 多様性社会推進課がすでにある 	<ul style="list-style-type: none"> 区民がカラフルに輝ける環境づくり No.1ではなくオンリーワンな教育の推進 おたがいさまネットワークの延伸
健康寿命の延伸	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化（25%超） 区ですでに健康寿命の増進に注力しており実績有 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢に関わらず健康づくりに取り組み健康を楽しむ社会の実現 世代を超えて健康を楽しめるまち



【輝き】基本目標（案）の検討結果

	基本目標（案）	説明文
輝き 1	<ul style="list-style-type: none"> • パパママ安心！みんなが主役の生涯輝きタウン • 生涯現役！あなたの個性が輝くふるさと • 希望がキラキラ！みんなのふるさと北区 	<p>地域のふれあいのなかで子どもたちが自由にすくすくと成長でき、生涯を通して誰もがいきいきと個性を輝かせ、希望があふれるまち北区をめざします。</p>
輝き 2	<ul style="list-style-type: none"> • 可能性と笑顔を咲かせるハートフルシティ • 自分の色を発見・シェアできるまち • 笑顔を共有！ふれあいのまち 	<p>世代を超えて楽しみや情報を共有することで、日常が鮮やかに彩られ、誰もがカラフルに輝くハートフルなまち、街中に笑顔がさくら咲くまちの実現を約束します。</p>

【創出】将来像の重視すべき要素と将来の姿の検討

将来像を構成する要素	北区の問題点と可能性	実現すべき北区の将来イメージ
誰もが生きやすいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 多様性への対応不足 区民との協働不足 再開発の余地がある 	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を尊重した誰もが住みやすいまちの形成 多様な主体が関わり合うまちづくり
持続可能性社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動への動機づけが不足 環境活動の不足 資源が多い（公園・河川など） 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な持続可能性社会の実現 環境活動に参画しやすい仕組みづくり 地域資源を活用し、経済的自立を達成した環境活動の推進
安全に暮らせる仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> 意識、知識の不足 予算不足 土地・スペース確保の必要 付加価値の創造 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ防災の推進 付加価値のある安全なまちづくりの実現
誰でも使える魅力ある公園	<ul style="list-style-type: none"> 敷地と費用の不足 民間活力の活用が少ない 交流の場の更なる確保 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな交流が生まれる拠点づくり 官民協働でつくりあげる魅力ある公園の実現
安心安全な都市基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> 敷地と費用と時間の不足 住民理解の不足 安心、安全ではない 景観の向上（魅力） 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に命を守る安心安全なまちづくりの推進 明るくキレイな街並みの実現
ゼロ・カーボンシティ気候変動対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 住民理解の不足 異常気象対策の不足 費用減できる 再生エネルギーによる防災対策の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害を防ぐゼロ・カーボンシティの実現 気候変動適応策の推進

【創出】基本目標（案）の検討結果

	基本目標（案）	説明文
創出 1	<ul style="list-style-type: none">未来へ向かって成長していくまち 北区北区でであり、おもいでをつくる人とみどりをまもるふるさと北区 	多様な主体がまちづくりに関わる仕組みの中で、北区らしいなつかしさを守りながら、新たな安全や価値を生みだしていき、人とまちがともに成長し続けます。
創出 2	<ul style="list-style-type: none">人と交流、環境と共生できるまち新しいにぎわい、交流がうまれる魅力ある拠点へサステイナブルタウン北区 	明るくきれいな安心して暮らせる街並みの整備がなされ、だれもが分け隔てなく楽しく交流ができ、持続可能で環境と共生できる、災害に強い安心安全な魅力あるまち北区をめざします。